

# 総合計画の着実な推進と

## 人口減少対策に取り組む

### 重点戦略

#### くじの魅力発信

「あまちゃん」の知名度を最大限に活かし、ロケツーリズムの推進に取り組むとともに外国人観光客の誘客の受け入れ環境の充実や情報発信、観光プロモーションへの参加などにより、誘客に努めます。

これまでの教育旅行により培った受入ノウハウを活用・進化させ、旅行をきっかけと



して、健康への気づきを与え、ヘルスツーリズムによる受け入れ拡大に取り組めます。広域道の駅の整備については、三陸沿岸道路の全線開通を見据え、道路利用者に立ち寄りてもらえるよう、久慈広域の魅力を集結させた施設として、施設整備に向け、着実な進捗を図ります。

#### 日本一の地域づくり

ふるさと未来づくり事業や各地区の市民センターを拠点に、住民と協働して地域づくりに取り組めます。

#### 安全・安心のまち

防災行政無線の難聴世帯解消に向け、戸別受信機設置の取り組みを進めます。地域の

共助の要となる自主防災組織の結成率向上とともに地域防災力の向上に取り組めます。

#### みんなに愛される公共交通

効果的で効率的な市民バスの運行や久慈駅から盛岡まで一貫経営となる三陸鉄道をはじめ、公共交通機関の利用促進に取り組めます。

#### 安心できる医療福祉のまち

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境整備や、生きがいを持つて生活し続けられる体制づくりに取り組めます。

#### 出愛いと地元愛の育み

結婚支援イベントを実施する団体などへの支援や縁結び



支援員による結婚相談、出会いの機会の創出など、将来的な結婚につながる取り組みを推進します。

#### 魅力ある仕事起し

本市の産業を担う人材の確保につながるため、中学校・高校等のキャリア教育の充実を推進します。事業者のマッチングイベントなどへの参加を支援し、新たな事業の展開を促進するとともに、雇用の拡大を図ります。

### 基礎戦略

#### 共に支え、元氣と安らぎあふれるまちづくり

市民との協働の推進については、NPOやボランティア団体の育成、支援を行うとともに、意識の醸成を図ります。地域づくり活動の推進については、市民センターを拠点に、さらなる住民自治の推進を図るため、「ふるさと未来づくり事業」に取り組めます。

クライベダ市との姉妹都市締結30周年を迎えることから、市民訪問団を組織し、市民レベルでの交流を進め、両市の絆をさらに深めてまいります。豊かな山里海の魅力ある資源を活かし、教育旅行や各種

協定を締結している自治体などとの交流を継続し、交流人口の拡大に取り組めます。移住・定住の促進については、「空き家バンク」「お試し暮らし住宅」の活用など、積極的に取り組めます。

すべての市民が、健康で安心して自立した生活を送ることができる地域共生社会を実現するため、関係機関や団体、市民との協働により、福祉コミュニティの醸成に努めます。高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けられるよう、老人クラブ活動への支援や「ふれあいサロン」の普及・充実など、生きがいづくりへの支援に努めます。

介護予防については、「いきいき百歳体操」のさらなる普及を図るとともに、ケアプランの「お世話型」から「自立支援型」への移行を促進し、重度化防止に取り組めます。

障がいを持つ人が住み慣れた地域で自立した日常生活と社会生活が送られるよう、障がい福祉サービスの充実と適切な支援体制構築に努めます。安心して子どもを産み育てることができるよう「お産・

子育て支援事業」を継続するとともに、新生児聴覚検査費用の助成や「妊娠・出産包括支援事業」に取り組む、妊産婦と育児支援の充実に努めます。風水害や津波などの災害に備え、地域防災計画の更新や総合防災ハザードマップの活用による防災対策に取り組むほか、避難施設の設定充実と非常用備蓄食料の計画的な更新を図ります。

総合防災公園は、平成31年度中の供用開始を目指し、整備を進めるほか、地域防災の担い手である消防団の重要性を市民に周知し、消防団員の確保に努めるなど、災害に強い体制づくりに取り組めます。

平成28年台風10号等により被災した道路、橋梁及び河川を復旧し、一日も早く安全で安心な日常生活を取り戻すことができるよう取り組めます。

主要地方道などの幹線道路の整備については、平成28年台風10号による法面崩落や道路流失などにより不通箇所が発生したこと、道路施設の防災対策や代替路線の整備など、災害に強い主要幹線道路網の整備促進に努めます。

さらなる港湾の活性化、利活用に向け、ポートセールスに積極的に取り組めます。

#### 総合力豊かな人材を

##### 育てるまちづくり

幼児期の教育・保育環境や地域の子育て支援環境の充実を図ります。子どもの医療費助成については、中学生までの医療費の全額給付などを日引き続き実施します。

また、仕事と子育ての両立と多様化する保護者ニーズに対応するため、子育て世代が安心して働くことができる子育て環境の充実に努めます。

学校教育の充実については、「生きる力」を育むことを理念とし、社会に適應できる人間形成を目指し、児童生徒一人一人の「学び考える力」「豊かな心」「健やかな体」の育成のため、各校における教育活動や研修などを支援します。

学校給食は、安全で安心な給食を提供し、地場産物の利活用による地産地消と食育の充実を図ります。

新久慈市立図書館の開館に向け、図書館機能の充実に取り組めます。

#### 資源を生かす魅力とやりがいのある産業のまちづくり

新規就農者への支援を積極的に行うとともに、認定農業者や集落営農組織への誘導、経営再開マスタープランを実践する農業者の経営力の向上など、経営の安定化に向けた取り組みを支援します。

また、基幹作物などの雨よけほうれんそう、菌床しいたけの産地力向上のため、生産施設・機械の整備や価格安定対策事業、生産資材の購入などに支援します。

畜産業の産地化の推進については、畜産農家の経営安定、担い手の育成・確保のため、生産基盤整備の支援に取り組めます。

地産地消の推進については、地域資源の有効活用や食の安全・安心を基本に、地場産品の消費拡大を進めるため、地産地消推進条例を制定しました。地産地消ふれあい給食など各種イベントの実施や産直運営への支援、郷土料理の伝承などに取り組めます。水産業の振興については、ウニやアワビ、ヒラメ、淡水



魚の放流やウニの深淺移植など、つくり育てる漁業を推進するとともに、ナマコの増殖事業に取り組んでまいります。また、関係機関と連携しながら、引き続き、巻き網船の誘致に取り組めます。

「駅前複合施設」の来年度中の完成と平成32年7月のオープンを目指し、着実な進捗を図ります。中心市街地全体のにぎわい創出と回遊性の向上に取り組むとともに、中小企業振興条例に基づき、中小企業者、産業経済団体等との連携体制の整備に努めます。雇用機会の創出については、地域の特性を活かした企業誘致を推進するとともに、既立地企業へのフォローアップとして、ハード面の整備や人材育成、雇用環境の充実に向けた支援を行うとともに若者の地元定着、Kターンをする若者の増加に取り組めます。